

2025 年 4 月 23 日

平屋にプラスワン空間でゆとり溢れる暮らしを叶える 『カサート 1.5 階モデル』を新発売

パナソニック ホームズ株式会社は、このたびゆとり溢れる暮らしを叶える『カサート1.5階モデル^{※1}』を、2025年4月24日から新発売します。

同商品は、スムーズな生活動線と、リビングからフラットに庭へとつながる自然との一体感で人気の平屋に、さらに 1.5 階のプラスワン空間の設計提案でゆとりある暮らしを実現します。



『カサート 1.5 階モデル』外観イメージ

近年、人気が高まっている平屋はワンフロアの効率の良さと 2 階建てよりも少ない費用で建築できる価格メリットを主な要因として、特に 20 代～30 代の住宅一次取得者層から支持されています。2023 年度には新築住宅着工棟数に占める平屋の割合は 15.3%になり、過去 10 年間で約 2 倍に増加^{※2}。当社においても 2024 年度の平屋の受注棟数は 1,000 棟を超え、前年度比 113%と大きく伸長しています。

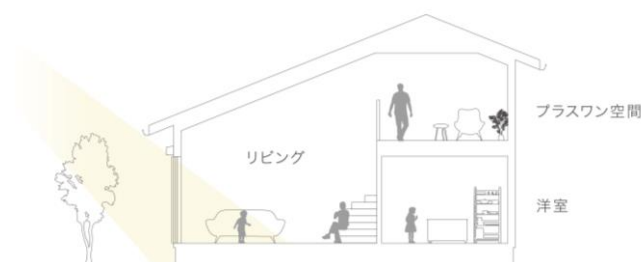
また、同商品は当社の主力商品「カサート」をベースにしており、鉄骨系工業化住宅でありながら 15cm 単位で敷地やプランに対してきめ細かな設計対応が可能で自由な屋根形状を用いることができます。今回、新たに架構システムを強化したことで天井高を最高約 5.3mとする大屋根の 1.5 階モデルが可能となりました。

ワンフロアでの暮らしやすさに加え、「プラスワン空間」として従来の平屋にひと部屋プラスの提案ができ、快適性とゆとりを叶える空間でお客様のニーズに応える商品といえます。

■『カサート 1.5 階モデル』 概要

① ゆとり溢れる暮らしを叶える「プラスワン空間」

『カサート 1.5 階モデル』は、ワンフロアで完結する平屋の効率的な生活動線に加え、家族が集うセカンドリビングや、こもり感のある書斎など、多彩な使い方ができる 1.5 階の「プラスワン空間」を提案。狭い敷地の場合でも、居住空間を縦方向にひろげる発想の「プラスワン空間」により、暮らしやすさが向上します。また、広々としたリビングに迫力ある大開口で、自然と一体となる平屋の特長に加えて、大屋根を生かした最高約 5.3m の天井高は開放的な吹抜けを生み出し、内と外、上下階のシームレスなつながりで、家族との豊かなコミュニケーションを育みます。



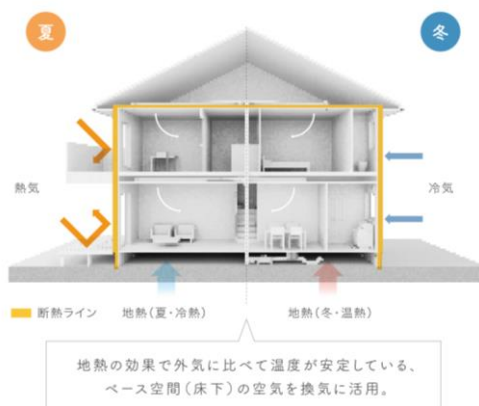
「プラスワン空間」イメージ



リビング イメージ

② 北海道の ZEH に相当^{※3}する高い断熱性

『カサート 1.5 階モデル』は、天井や外壁だけでなく基礎の内側まで家全体を高性能断熱材ですっぽり包み込む「家まるごと断熱」に加え、床下の地熱も活用して冷暖房負荷の軽減を図っているため、北海道の ZEH に相当する高い断熱性を備えています。さらに、住まいから熱の出入りが多い窓には、断熱性に優れたアルミ樹脂複合サッシを採用。省エネに配慮し、快適性を備えた住まいをお届けします。



「家まるごと断熱」イメージ図

③ 住宅業界初の「花粉対策製品認証^{※4}」を取得した HEPA フィルター付き 換気・空調システム

2024 年 11 月に住宅業界で初めて^{※5}花粉問題対策事業者協議会(以下「JAPOC」)^{※6}による「花粉対策製品認証」を取得した、HEPA フィルター付き換気・空調システムの全館空調『エアロハス』や、『エコナビ搭載換気システム HEPA+(ヘパプラス)』を採用。

HEPA フィルターは、 $0.3\mu\text{m}$ の微粒子を 99.97%捕集^{※7}し、外気の汚れだけでなく、室内の空気中に漂う細かなホコリや花粉、PM2.5^{※8}にも対応しており、毎日の暮らしに安心して心地よい空気をお届けします。

④ 繰り返しの地震にも歪みを防ぐ耐震性能に、最長 35 年の「地震あんしん保証」も付帯

当社の住宅は、過去の大地震において倒壊ゼロ^{※9}の実績があります。また、過去の大地震を超えるエネルギー量での実大住宅振動実験^{※10}においても、地震に対する強さを実証しています。さらに、優れた耐震性能だからこそ実現した「地震あんしん保証」^{※11}を付帯。万一の地震の揺れによる建て替えや補修を最長 35 年保証し建物を原状復帰することを約束します。併せて、地震保険に加入することで保険を「生活の再建」に充てることが可能となるため、なお安心です。

■『カサート1.5階モデル』概要

商 品 名	: 『カサート 1.5 階モデル』
発 売 日	: 2025 年 4 月 24 日
構 造	: 制震鉄骨軸組構造
参 考 価 格	: 3.3 m ² あたり 100 万円台より(標準本体価格・消費税込) ※価格は、地域、延床面積および設備・仕様等により異なります
販 売 地 域	: 北海道、沖縄および一部地域を除く全国
販 売 目 標	: 初年度 40 棟

◎『カサート1.5階モデル』の詳細はこちら

https://homes.panasonic.com/sumai/lineup/hiraya_plusone/

※1: 建築基準法上は、2 階建て扱いとなります。

※2: 国土交通省調べ

※3: 2024 年 12 月現在 1.5 階モデルプランにて省エネ地域区分 1.2 地域における ZEH 基準の断熱性能をクリア。建築地やプラン、採用する仕様によっては対応できない場合があります。

〈試算条件〉◎建物仕様: ハイグレード断熱、全館空調エアロハス、太陽光発電 5.51kW ◎延床面積: 130.15 m²

※4: 標準化規格に沿った厳しい試験測定条件をクリアした一定性能の製品・用品のみが認証を受けられます。
(JAPOC 公式HPより)

※5: 2025 年 1 月時点。

※6: 花粉問題対策事業者協議会(JAPOC)ホームページ <https://www.kafunbusiness.org/>

※7: HEPA フィルターの性能値。工場出荷時の初期性能になります。換気システム全体の数値を示すものではありません。また、0.3 μm 未満の微小粒子状物質については除去の確認ができていません。

※8: PM2.5 は粒径が 2.5 μm(マイクロメートル)以下の微小粒子状物質の総称。1 μm は 1mm の 1000 分の 1。

※9: 最大震度 7 (マグニチュード 7.0 以上)を記録した阪神・淡路大震災と東日本大震災、熊本地震で被災した当社住宅の対象棟数の総数 177,177 棟のうち倒壊した住宅は 0 棟(当社調べ)。

※10: 2011 年 6 月、大林組技術研究所の実験施設にて実施。阪神・淡路大震災神戸波の約 4.3 倍、東日本大震災築館波の約 1.8 倍のエネルギー量。実験後の検証にて、一部にクロスの切れやタイルのひび割れ、瓦の割れがあったものの、構造体の交換が必要となるような大きな損傷はありませんでした。基礎については、本実験施設では確認できないため、他の実験でクラック・割れが生じても、建物が安全であることを確認しています。建物条件によっては同様の実験結果とならない場合もあります。当実験で鉄骨軸組構造の高い耐震性は確認できましたが、実際の地震におけるお客さまへの保証は保証基準に基づきます。

※11: 当社に工事を依頼することが条件です。役務を提供するものであり金銭の支払いはいりません。既存建物等の解体・撤去費用は負担しません。

*** 本件に関するお問い合わせ先 ***

パナソニック ホームズ株式会社 宣伝・広報部 ブランド宣伝・広報課 小林

TEL:070-7818-5779 / E-mail:kobayashi.moe@panasonic-homes.com

HP: <https://homes.panasonic.com/company/news/release/>